

名古屋外国語大学論集
第6号

特 集

名古屋外国語大学における 情報教育の現状とその未来

The Information and Communication Technology Program at Nagoya University of Foreign Studies: The Current Situation and Direction in the Future

名古屋外国語大学の情報教育科目は、2017年度より全学共通基幹科目ICTP（ICTプログラム－Information and Communication Technology Program）として統合され、その目的は、グローバルな人材養成に向けて情報および情報ツールを主体的に選択し、活用していくための個人の基礎的な資質、情報活用能力を育てることにある。現在6科目が用意されているが、そのうち「情報リテラシー」は入学直後に新入生全員にこれから大学教育を受けるため、また将来情報化社会の一員として最小限必要な知識と技術を学ぶため必須科目となっている。また1年後期には「表計算ソフトウェア演習」と「情報システム基礎」が中核的な科目として開講されている。さらに専門性の高い科目として「Webデザイン」・「プログラミング言語」・「ICT活用演習」が2年次以降に提供されている。

本特集は、ICTPとして新たに歩み始めた本学の情報教育の授業について各担当教員が現状報告と問題点、そして未来に向けた展望を論述し、まとめたものである。

最後に本特集を提案していただいた本学論集委員会に謝意を表します。

メディア情報教育センター長 大矢芳彦